

(1) 研究主題

自ら学び共に高め合う岬の子どもの育成

～自分の考えを表現する力を育てる複式授業づくり～

(2) 主題設定の理由

足摺宇和海国立公園内に校区の足摺地区と松尾地区があり、2階の教室からは雄大で美しい太平洋が一望できる自然に恵まれた本校では、素直で元気な19名の子どもたちの明るい声が響いている。

本校は、昨年度一昨年度と「主体的・対話的で深い学び」に向け、個人思考の場面をとること、自らの考えを相手にわかるようにまとめて書くこと、子ども同士がお互いの意見を出し合って関わり合って学習する場面を意識して仕組むことを通して、多様な表現の仕方を身に付けさせる授業づくりを算数科を中心に取り組んできた。

2021年度の学力調査等の結果、高知県学力定着状況調査結果において 県平均との差4年【国語+5.8、算数+17.1、2教科+11.7→目標達成】、5年【国語+22、算数+25.7、理科+19.8、3教科+22.5→目標達成】、4年5年とも各教科で県平均を上回っている。関わり合って学習することを大切に取り組んだ結果として、〔1 文章を正しく読み取る力や問題解決のための思考力、判断力、表現力が高まっている。2 基礎基本が定着し、既習を使って問題を解いている。3 語彙の質と量を高め、自分の考えをまとめて伝え合うことができている。〕が挙げられる。児童は落ち着いて複式授業に取り組み、じっくりと学習ができている。しかし1, 2, 3, 6年生のCRT結果の評定1が【国語24%、算数18%】であった。国語では内容や問題文の読み取りができていないこと、算数では文章を読み進め、問題を解いていくようなものは問いの意味が分からないこと等の課題が見られた。

本年度も研究主題を「自ら学び共に高め合う岬の子どもの育成～自分の考えを表現する力を育てる複式授業づくり～」として、引き続いて算数科で授業研究を行う。

授業では児童が意欲的に学んでいけるようなめあてを設定する。ペア対話においては、出た意見をまとめることをリーダーが行うなど、聞いた意見を、他の児童が言えるようにさせることで、学習内容理解につなげる。問題文の理解に弱さがあるため、その手立てとしても説明し合うことを大切にしていく。表現する力を育てることで文章の理解・問題文の理解につなげたい。「主体的・対話的で深い学び」に向け、個人思考の場面をとること、自らの考えを相手にわかるようにまとめて書くこと、子ども同士がお互いの意見を出し合って関わり合って学習する場面を意識して仕組むことを通して、多様な表現の仕方を身に付けさせる授業づくりに向けて取り組んでいく。

(3) 研究仮説

各教科の授業において、対話的な学びの場を設定することで、児童が自らの考えをまとめ

伝え合うようになり、深く学ぶ姿勢が見られれば、「自ら学び共に高め合う岬の子どもの育成」が達成できると考える。

- ・対話を通して児童一人一人の考えが広がったり、深まったりする授業をめざす。
- ・〔話し合い〕シート、〔接続詞〕カードを活用する。
- ・友だちに自分の考えや思いを伝える（伝えるための声の大きさ、話し方や書き方）
- ・友だちの意見を聞き、自分の考えと比べる。

（４）研究の重点

○算数科において、自ら学ぶ「ひとり学び」と考えを交流し深め合う「とも学び」の指導過程や学習指導のあり方を検討し、研究授業を通して検証していく。

○「複式授業のスタンダード」の確立をめざしていく。

「主体的・対話的で深い学びに向けた算数科の授業づくり」

- ・見通し（問題の把握、めあてをつかむ）
- ・自力解決（自分の考えをもつ→考えをまとめる）
- ・集団解決
（考えを伝える わからないことを知ろうとする 多様な考えを知る 考えを深める）
- ・まとめ（子どもの言葉でまとめる 算数用語を使う めあてとつながるまとめ）
- ・振り返り（振り返りの視点、条件（キーワード・文字数）を決めた振り返り等 何を学んだのかがわかる）

「自分の考えをまとめて表現する力」

- ・書く 日記、短歌、俳句、標語、作文、感想文、読もっかの記事
- ・描く 絵、ポスター 観察、読もっかのイラスト
- ・話す 意見、説明、発表、感想、読書 子どもガイド
- ・つくる はがき新聞、新聞づくり ふるさと・防災マップ

（５）具体的な取組

確かな学力

① わかる楽しい授業づくり

- ・単元でつきたい力と学習の流れ（見通し）の明確化
- ・学習進行カードの提示
- ・学習リーダーの育成
- ・対話を重視した授業づくり
（授業研究・授業検討会の充実・講師招聘・学期毎の実践報告と検証）
- ・「複式授業のスタンダード」の継続・改善・発展

- ・言語活動や探究的な学習活動の充実
 - ・ICTの活用と教室環境ユニバーサルデザインの整備
- ② 基礎学力の定着と学力向上
- ・学力定着状況把握と分析活用（学力調査・県学力定着度調査・観点別到達度診断等）
 - ・つまずきの明確化と個に応じた指導（個別指導・加力指導）
 - ・家庭学習の定着と充実（家庭学習の手引き・自主学習ノートの工夫・家読書の習慣化）
 - ・単元テスト、県作成シート、過去問題集の活用と検証
 - ・計算タイム（コツコツ計算）
- ③ 思考力、判断力、表現力の育成
- ・読書朝礼、読書指導の充実
 - ・集会や発表活動の充実
 - ・人と関わる力の育成（コミュニケーション能力・社会性）
 - ・学校文集、学校・学級通信、日記、作文、読書感想文等
- ④ 主体的・能動的な態度を育てるNIEの実践
- ・新聞活用や調べ学習を取り入れた授業づくり
 - ・学校図書館の充実と学ぶ環境づくり

豊かな心

- ① 道徳教育の充実
- ・年間計画の進捗と検証
 - ・道徳意識調査の分析と検証 ・道徳参観日計画と実施
- ② 人権教育の充実
- ・年間計画の進捗と検証 ・人権作文や人権標語への取り組み
 - ・Q-Uアンケートやいじめアンケートの分析と活用 ・人権参観日の計画と実施
- ③ 特別支援教育の充実
- ・特別支援教育の推進 ・校内支援委員会 ・家庭、関係機関との連携
 - ・不登校傾向児童への支援
- ④ 地域学習
- ・ヤブツバキ再生プロジェクト ・地域の自然と歴史
- ⑤ 福祉活動とボランティア活動
- ・敬老の手紙 ・ボランティア清掃活動 ・地域行事への参加
- ⑥ 仲間づくり
- ・造形活動の充実 ・児童会活動
- ⑦ 保・小・中・家庭・地域との連携
- ・学校通信、学級通信の活用
 - ・保小、小中連携、足摺会、足摺・松尾子どもを守る会

- ・各教科、行事における地域の方との交流

健やかな身体と体力

① 健康教育の充実

- ・ 基本的な生活習慣の確立
- ・ 食育
- ・ 保健指導
- ・ 生活習慣調査の実施、分析、広報活動

② 体力の向上

- ・ 朝運動の充実
- ・ 体育集会
- ・ 授業改善
- ・ 外部指導者の活用

③ 防災・安全教育の充実

- ・ 危機管理意識の向上と校内体制の整備
- ・ マニュアルの作成と点検・避難訓練の実施
- ・ 学校環境の点検・安全管理
- ・ 高知県安全教育プログラムの実施
- ・ 安全教育参観日の実施
- ・ 実践防災指定事業の研究発表会の実施